

敬老祝会事業 現制度の概要及び主な相違点

市社会福祉協議会による補助制度 (新潟市の全額補助)

北区 (旧新潟市域)
 東区
 中央区
 秋葉区
 西区 (四ツ郷屋地区を除く)

主催者	自治会、コミ協等 (主催者への補助)
単価	1,000円
対象	・75歳以上の参加者 ・不参加者への祝品(配布する場合) ・75歳未満の参加者(祝う人)
上限額 (団体ごとに設定)	自治会・町内会: 30,000円 コミュニティ協議会: 200,000円
対象外の経費	・現金、金券類 ・アルコール類 など

各区の独自事業(地域へ委託)

主催は市

単価: 1,000円/人
 +事務費3%加算
 対象: 75歳以上の全高齢者
 (参加・不参加問わず)
 団体ごとの上限額なし
 対象外経費: 定めなし

北区
(旧豊栄市域)

江南区

単価: 2,000円/人
 対象: 75歳以上の参加者
 +ボランティア人数(参加者の約1割)
 団体ごとの上限額なし
 対象外経費: 現金・金券類、不参加者への祝品

南区

西蒲区

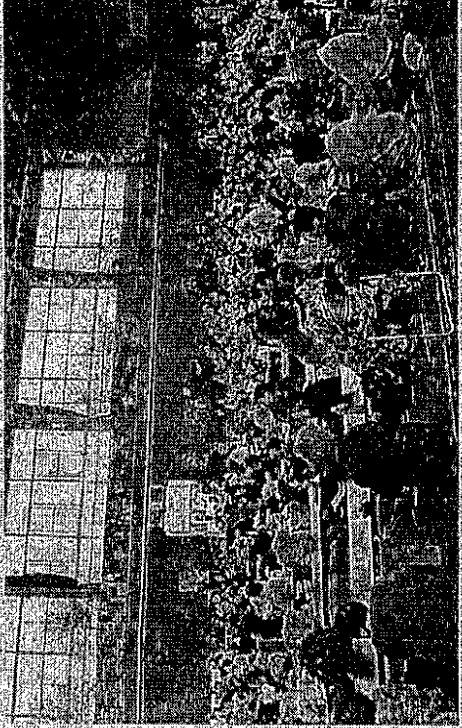
基本額: 200,000円/団体
 +単価: 1,000円/人
 対象: 75歳以上の参加者
 団体ごとの上限額なし
 対象外経費: 定めなし

西区
(四ツ興野)

単価: 1,000円/人 巻地区のみ700円/人
 対象: 75歳以上の全高齢者
 (参加・不参加問わず)
 団体ごとの上限額なし
 対象外経費: 現金

西蒲区・巻地区と概ね同様

公平重視か 地域事情が



敬老祝会助成

9月8日の「敬老の日」に合わせ、新潟市内各地域の自治会などが75歳以上の高齢者を対象に開く敬老祝会が、岐路を迎えている。市の地域によって異なる助成制度の統一を検討しているため

金額に差 市が統一検討

西蒲区佳良み 負担増に懸念の声

市高齢者支援課によると、2005年の合併前の旧新潟市などには敬老祝会への助成制度がもともとなく、12年度に全市で制度が広がったが、内容はさまざま

だった。旧新潟市の大半などで新たに始まった制度では、会に参加した人数分の助成金を出し、開催規模ごとに助成額の上限を設けている。16年度に参加した

地域	助成対象
旧新潟市の大半と西蒲区	敬老祝会への参加者のみ
北蒲区	1人当たり千円(上限あり)
西蒲区	75歳以上の高齢者全員
北蒲区	1人当たり千円
(豊栄地区)	
江南区	敬老祝会への参加者2人当たり千円

2016年度に西蒲区西川地域で開かれた敬老会。新潟市西蒲区川崎(西川地域)コミュニティ協議会提供

り記念品を受け取りたりした人は、全対象者の19%にとどまる。一方、合併前から行政の支援があった西蒲区や北蒲区などでは、75歳以上の全員が対象だ。1人当たり千円(豊地区は700円)を助成し、祝会に参加しなかった場合でも、記念品などを配っている。江南区や南蒲区などでも、それぞれ助成額の算出方法や制限の有無など、制度が異なっている「参考▶▶」

そのため、助成額は地域によって差が出ている。西蒲区の75歳以上の人口は、

敬老祝会、9月の第3日曜日の敬老の日に合わせて、長年社会の発展に寄与してきた高齢者の長寿を祝い「敬老会」「敬老祭」などとして開かれる。新潟市では地域に住む75歳以上

全市の75歳以上の人口の8%であるにもかかわらず、17年度の予算額は1070万円を上り、全市の敬老事業予算額の4分の1を占める。

市内の高齢化が進んでいることもあり、市は昨秋敬老事業の平準化に向け新しい制度づくりに着手した。西蒲区はことし3月、各コミュニティ協議会や自治会長などに制度の見直しについて説明した。先行して17年度は、区が贈っていた記念品のタオルを廃止した。篠田昭市長もまちづくりトータルとして「合併地域の方々が敬老事業に厚い支援を



しており、旧新潟市の方が若手薄い部分がある」として、制度の見直しに意欲を示し、「会に健康運動を取り入れ、入札をすることで支援額を落とさない工夫もあると思う」と話している。

西蒲区の住民からは「統一はやむを得ない」と理解を示す声の一方、「敬老祝会は地域の伝統行事」「上限が設けられると負担が大きくなる」といった声も上がっている。

信生地域コミュニティ協議会の眞島彰夫会長は「敬老会は議員から出ない高齢者も集まり、お互いに元気をもらえる貴重な機会だ。都市部とは違ふ地域独自の事情があることを分かってほしい」と話した。

市高齢者支援課の栗林裕之課長は「新しい制度の円滑な移行の経過は、聞いて、専門のあり方を検討していきたい」としている。

いつまでも元気に生き生きと暮らすために

報告資料2 追加資料

～地域で敬老会を取り組んでみませんか～

新しい敬老会って？ ↓



地域の特性と自主性を活かした敬老会

会食・歓談等
今までの敬老会

+

認知症理解・予防
多世代交流
健康寿命の延伸
小中学生演奏会など



75歳以上

補助
対象

参加者

75歳未満

補助
対象

参加者

*補助対象の要件あり
(今後検討)

補助金の要件など…
☆祝会を開催することが要件
☆祝品配布のみは対象外
☆アルコール類・金券は対象外